

予算決算福祉文教小委員会審査報告書

令和 2 年 9 月 16 日

予算決算常任委員会委員長 渡邊 千賀雄 様

福祉文教小委員会委員長 伊藤 まゆみ

本小委員会に付託された事件についての審査内容及び経過、意見等を次のとおり報告します。

事件の番号	付託内容
議案第 62 号	令和元年度飯綱町一般会計歳入歳出決算中 民生費、衛生費、 <u>労働費</u> （シルバー人材センター運営事業）、 教育費及び関係歳入について

当小委員会では、上記付託議案について、説明員から詳細な説明を受けながら活発な質疑を行い、審査を行いました。

次に主な質疑、意見について報告します。

■住民環境課

【民生費】

質疑①：国民年金費の事務費交付金で、歳入・歳出の差額は人件費に充当されているとのことだが、決算書ではどこに該当するか。

回答①：決算書の 20 ページに民生費国庫委託金として国民年金事務費の歳入 2,553,563 円が記載されており、87 ページに国民年金費 381,964 円の歳出が記載されている。国民年金事務費交付金は歳出に記載されている事務費の他、国民年金事務に係る職員の給与や窓口対応、申請書受理件数等が算出根拠となっているため、差額については事務担当者の人件費等の一般会計予算として使われる。

質疑②：国民年金費の保険料現年度分納付率が令和元年度 85.89%ということで年々上がってきているが、町では納付率向上のための対策を行っているか。

回答②：徴収業務は年金事務所が行っているが、町の対策として国民年金加入手続きの際に、口座振替納付申出書やクレジットカード納付申出書の提出の推進、また保険料免除・納付猶予申請や学生納付特例の申請の案内等、窓口対応での説明により納付率を上げる努力を行っている。

意見③：納付率の低下は本人が年金をもらえないということだけでなく、年金事業の運営にも影響を及ぼす。長野北年金事務所管内の平均と比べて納付率は高い状態にあるが、まだ15%近い金額が納付されていないので、引き続き努力してもらいたい。

質疑④：20歳になってから就職するまでの学生の期間が、国民年金保険料納付率の低下の要因のひとつではないか。

回答④：学生については学生納付特例の制度があり、学生の間は納付が免除されるため、案内をして納付率の低下を抑制している。しかし、免除の期間は年金支給額の算出に反映されないため、特例期間は年金額に反映されないこと、免除期間後に保険料を追納できることを周知していく必要がある。

【衛生費】

質疑①：環境対策費の繰越明許費の内容は。

回答①：住宅用太陽光発電システムの補助金である。

質疑②：生ごみ処理機器の事業の周知はどのように行ったか。

回答②：広報紙や無線放送で行った。

質疑③：国道・県道・町道の死骸処理はどこで対応しているか。

回答③：国道・県道・町道でそれぞれ対応が違う。町道については、生活環境係で回収し、最終的には焼却処分をしている。

質疑④：環境審議会費の支出が少ない理由は。

回答④：環境教育等推進協議会の予算が含まれており、会議の開催回数が見込みより少なかったことや報酬を支払う必要のない委員の人数が多かったためである。

質疑⑤：資源物類の集団回収のところには、社協事業でボランティアが空き缶をつぶしたものは入っているか。

回答⑤：入っていない。

質疑⑥：北部衛生施設組合のし尿処理について、今後どうするのか北部衛生議会で決定する前に町の議会でも説明してほしい。可燃ごみ焼却施設解体のため基金を積み立てていたが基金で足りたか足りなかったか。過不足金が発生したのであればその処理はどうか。

回答⑥：し尿処理施設の今後については、し尿の搬入量が想定より少なくなっていることと、機械設備の部品が古くなっている等から、公共下水道へのつなぎ込みも含め検討を始めたところである。今後どうするかを決定する前に説明したい。解体工事のための基金は残る見込みであるが、残金の配分方法についてはまだ決まっていない。

質疑⑦：住宅用太陽光発電システム補助金の取り下げ2件とは。

回答⑦：1件は農地だったため取り下げ、もう1件は自己都合で取り下げ。

質疑⑧：可燃ごみ一人当たりの排出量を報告書に入れてはどうか。

回答⑧：検討する。

意見⑨：太陽光発電施設については、町に隣接した場所に設置される際は説明等するよう申し入れてもらいたい。

意見⑩：古町公衆トイレを建て替える際には、小玉区にも待避所があるので地元の要望も聞いてほしい。

■保健福祉課

【民生費】

質疑①：高齢者住宅改修事業において、当初予算で4件を見込んだ理由及び決算額が0の理由は。

回答①：平成29年度の実績件数4件を参考に見込んだ。また、決算額が0の理由は、申請者の所得税世帯合算額が支給要件の基準を超えていたため対象外となった。

質疑②：人工透析患者通院費補助事業で、信濃町では500円を交付しているが、当町はいくら補助しているか。

回答②：当町では、通院に係るバス代及び車の燃料代等の半額を補助している。

質疑③：人工透析患者通院費補助者が7人とあるが、実際には何人の透析患者がいるか。

回答③：腎機能障害での障がい者手帳取得者は27人である。

質疑④：老人クラブの会員数が656人となっているが、町全体での対象者数は。

回答④：老人クラブは60歳以上の方ならどなたでも参加できる。60歳以上の人口は男女計で5,076人。

質疑⑤：老人クラブへの加入者が少ない原因を把握しているか。

回答⑤：原因の一つとして、加入するとすぐに役職に就く場合があり、それが嫌で加入しない方がいることは聞いている。

質疑⑥：障害者にやさしい住宅改修促進事業及び高齢者住宅改修事業の実績が0であるが対象者に対し、事業の周知等を行っているか。

回答⑥：建築業者、ケアマネ等に周知を行っている。

質疑⑦：社会福祉法人が経営する社会福祉施設の建設費に対して、500万円の補助をしているが、補助率の根拠は。

回答⑦：建設費の補助対象事業費から国及び県の補助金を差し引いた金額の2分の1の範囲内で町長が決定する額で、上限額は500万円である。

質疑⑧：課題で「福祉医療費給付額は前年に比べ、支給件数が1,334件減少した」と書いてあるがどこから把握できるか。

回答⑧：前年数値と比べての数値である。今後、把握できるよう記載の方法を検討

する。

質疑⑨：行政報告書 162 ページの介護保険事業の財源のところ、諸収入（予防給付ケアマネジメント事業収入）3,042,330 円とある。これは歳入金額だが、歳出はどこか。

回答⑨：歳出は、介護保険事業の介護保険事業特別会計へ繰出金である。介護保険事業特別会計内の、9 款地域包括支援センター費で、ケアマネジメント業務を行っており、その事業に対する支出である。どの区分にあたるかは決まっていない。

質疑⑩：決算報告書 88 ページでいうとどこか。

回答⑩：介護保険事業の繰出金。

質疑⑪：歳入側で予防給付ケアマネジメント収入と借換債を除くと、普通会計ができる訳だが、一般会計の歳出側ではどこか。

回答⑪：一般会計では介護保険事業である。

質疑⑫：普通会計の仕組みとして、歳入歳出で借換債と予防ケアマネジメント収入を除くと普通会計になるが、特別会計ではどの部分に入るか。

回答⑫：一般会計で予防給付ケアマネジメントは諸収入で収入される。歳出は介護保険事業の繰出金で、介護保険特別会計へ地域包括支援センターの事業分、として支出されている。介護保険事業特別会計では、歳入として繰入金の地域支援事業繰入金を収入し、歳出では地域包括支援センター費で予防ケアマネジメント業務を行っている、ここでの支出となる。地域包括支援センターの運営経費ということで、具体的に収入がどれにあたるかは言えないが、ケアマネジメント業務に係る経費ということで介護支援専門の賃金や自動車借料などにあたる。特別会計の中では繰入金で収入し、9 款地域包括支援センター費で支出となる。決算書だと事項別明細の 286、287 ページ。

質疑⑬：10,394,819 円とあるが、そのどの部分にあたるかということを知りたい。

回答⑬：普通交付税と同じで、事業を行っているところに充てられるという考えで、具体的にこれという区分にはなっていない。予防ケアマネジメントで得た事業収入ということになり、その事業は地域支援包括支援センターで行っている。ケアプランを立ててマネジメントを行うことで得る報酬であり、社会福祉協議会のような一つの事業所として扱われる。ケアマネジメント業務を行うことで、法令で定められた報酬を保険者から得るもので、人件費や需用費などに相当すると考えている。賃金や消耗品、燃料、委託料などが収入に相当する業務である。

【衛生費】

質問①：母子保健において、予防接種率の向上策として「飯綱町子育てアプリ：いづななび」があるが、周知方法と登録率は。

回答①：保健師が新生児訪問の際にチラシを渡し登録を進めているため、新生児で

の登録は多い。登録率はアプリ開発業者の報告値ではわからないため、今後、算出方法等を業者等と検討したい。

質問②：障がい者の家族会について、「ヤングケアラー」への対応は。

回答②：精神保健福祉手帳・自立支援医療申請者について、県事業を町が代行受付している。個人情報等の問題があり、家族会への加入等は積極的に進めていない。また、ヤングケアラーについては、健康推進係では把握していない。

質問③：検診事業における各種がん検診について、国民健康保険、協会けんぽ等社会保険に関係なく、検診が可能か。

回答③：各種社会保険に関係なく、飯綱町検診（健診）実施要綱に基づき、がん検診毎に検診対象年齢等の要件を設定し行っている。

質問④：がん検診受診者数に対して検診対象者は把握できないか。

回答④：該当年齢により検診対象者の確認はできる。がん検診受診者数は検診希望調査票において申込み、受診した人数を記載している。

質問⑤：各種がん検診の精密検査未受診者への対応は。

回答⑤：各種がん検診の結果、精密検査が必要なすべての者に通知や電話など勧奨を行っている。

質問⑥：乳児健診の対象者数の根拠は。妊娠届け出数と合わないが。

回答⑥：乳児健診は1歳になる前の4か月、7か月、10ヶ月の3回行う。対象者数は、延べ人数となっている。なお、1歳未満で転入した者も健診の対象に含まれているため、妊娠届け出数とは合致しない。

質問⑦：保健補導員の役割について、過去の保健補導員と現在の保健補導員では行っている内容も違うと思うが、役割が見えてこない。保健補導員の地域との関わりはどう考えているか。

回答⑦：今回、委嘱した保健補導員の中にも80歳を超える高齢の方や地区によっては何回も補導員を経験されている方がいる。課係内で、活動内容や必要性を再検討する。

質問⑧：定期健康相談に関わらず、随時電話や来所により相談ができるとのことだが、人員の確保はできているか。

回答⑧：昨今、精神保健に関する相談が多く、保健師が随時対応している。対応処理を行う中で、少なからず通常業務に影響が生じており、人員については不足していると感じる。

質問⑨：人員不足への対応は。

回答⑨：保健師の臨時採用募集は随時行っているが雇用には至らない。要因として雇用される側が臨時的な採用ではなく、正規職員での採用を求めている。

質問⑩：飯綱町総合健診が隔年の理由は。自分自身の健康状態を知るには毎年実施した方が良いのではないか。予算上の問題か。

回答⑩：飯綱町総合健診の業務委託先は飯綱病院である。受診者数の増加に委託先が対応できるかなどの課題もあるため、今後研究を行う。

質問⑪：その他の成人検診事業における歯周疾患検診について、受診対象者に受診

勸奨通知を送付しているが、定期的に歯の検診をしている者の数を把握しているか。

回答⑪：行政報告の受診者数は、歯周疾患検診を委託先である町内医療機関で受診した総数である。定期的に歯科検診を受けている者の数は把握できていない。

【労働費（シルバー人材センター運営事業）】

質疑なし

■教育委員会

【民生費】

□児童福祉費、保育園費、子育て支援センター費等

質疑①：保育園環境整備について、平成 30 年度はさみずっ子保育園が第三者評価の対象となっていて、その中の利用者の満足度の中で外部からの侵入に対する安全策の満足度が 44%と半数に達していなかった。平成 29 年度はりんごっ子保育園が 12.9%、さらに平成元年度の南部保育園は 16%であるが、外部からの侵入に対する保護者の不安への対策は行われたか。

回答①：鍵の対策等の施設面での対策は特に行っていないが、各園で不審者侵入に備えた防犯訓練を実施している。

質疑②：きめ細かな切れ目のない子育て応援総合事業について支出額が少なく 47%の執行率だが事業はきちんと行われているか。

回答②：当初は委託事業で行っていたが、利用率が少なく人件費に係る委託料をやめ、正規職員で対応したため支出額が少なくなった。

質疑③：子育てと両立する働き方改革事業について、内容を見ると 6 名の託児パートを雇った人件費 290 万円がほとんどであり、割り返すと 40 万円程になる。どういう労働体系になっているか。

回答③：ワークセンターの託児の臨時保育士の人件費 6 名分と子育て応援会議委員報酬である。6 名の保育士が勤務体系を取り決めている。

質疑④：もっと自分らしく輝く i（アイ）ママ事業は 2,590 万円程だが、子育て支援センター建築費の繰越予算 2 億 4,050 万円と関連はあるか。

回答④：2 億 4,050 万円は翌年度への繰越事業であり、関連はない。

質疑⑤：子育て支援センターの建築年度は、令和 2 年度かそれとも 3 年度か。

回答⑤：令和 2 年度内に完成である。

質疑⑥：乳幼児教育プログラムの進捗状況は。

回答⑥：どんな成果品になるかわからないが、1 年目は親育ちを重点に取り組んでいる。以後、指導者の養成を長野県立大学にお願いしている。

質疑⑦：二拠点移住コミュニティプロジェクトにおいて、流山市の在宅ワークグループと交流を行うことになったきっかけは何か。また交付金事業の対象と

した経過は。

回答⑦：すでに企画課の事業で流山市のまちづくりグループとのパイプがあった。本交付金事業の採択要件は、子育て施策以外の政策間連携が必須とされている。町内への人の流れを取り入れるため、流山市の在宅ワークグループ交流を移住施策のプロジェクトとした。

質疑⑧：保育園の3歳以上児の給食はメニューが同じだが子どもの年齢に合わせた食事が提供されているか。

回答⑧：給食のメニューは栄養士が年齢に応じた食事の量やカロリーを計算して提供している。

質疑⑨：保育園費の「児童1人あたりのおおよその費用と負担割合」について、県平均と比較しての傾向は。

回答⑨：県は各市町村からこのようなデータの収集を行っていないため、比較していない。

質疑⑩：さみずっ子保育園の再生可能エネルギーは4・5年経過するが、通常の電気や灯油と比較し費用対効果を計算したことがあるか。二酸化炭素が13.1t減っている結果だけを見ると十分効果があるとみることができるが経費の面ではどうか。今後、冬は暖房、夏は冷房を急遽設置することはあるか。当初の機能を果たしているのか併せてお聞きしたい。

回答⑩：この数値はあくまでも二酸化炭素の削減量である。古い建物の時の灯油代や電気代については分かるが新しい施設での費用は出していないので費用対効果があったかどうかの比較はしていない。また、新たに設備の導入については、今のところ必要ないと考えている。

質疑⑪：発達障害の子どもが最近非常に増えている。原因がどこにあるか整理し、対応をしているか。

回答⑪：町では発達障害を含め支援を必要とする児童に対し、早めに支援することで、社会生活の自立ができるよう取り組んでいる。さらに、保育園、小学校、中学校へと支援が継続されるよう連携している。

質疑⑫：副食費の補助は10月からと考えてよいか。

回答⑫：それまでは保育料に含めていた。10月からの保育料等無償化により含まれなくなったため、町単独で副食費も含めて無料となるよう補助を実施している。

質疑⑬：子育て中の親からの相談に乗るなど、配慮は何かしているか。

回答⑬：子育て支援センターでの活動や各保育園・学校などのあらゆる場面において相談活動を行っている。相談内容によって関係機関へ繋げたり、継続した関わりや横断的な連携などを行っている。

質疑⑭：児童虐待について、保育士からの報告による把握の他に住民の方が通報先を知っていて通報してくるようなことはないか。地域や住民のより多くの目で子どもを見守る等の取り組みはないか。

回答⑭：地域の方が教育委員会に通報してくることもある。保育士が一番身近で発見しやすいがそれ以外に児童相談所経由で飯綱町に通報が来ることもある。

【教育費】

□教育総務費、小学校管理費、中学校管理費等

質疑①：冬期、中学校敷地内の凍結による転倒事故防止への取組は。

回答①：本年度から凍結防止剤を塩化ナトリウムから塩化カルシウムに変える予定。

質疑②：スクールソーシャルワーカーについて、支援の必要な子どもに継続して関わることや色々な窓口にフィーリングが合うまで相談するなど緩やかな連携をしているか。

回答②：保健師が中心となって多方面に繋がっている。家庭内にも問題を抱えている場合もあるため、スクールソーシャルワーカーは自宅訪問なども含めて支援している。

□社会教育費、公民館費、生涯学習費、施設管理費、文化財費等

質疑③：子どもの居場所づくり事業について、（１）少年スポーツ活動には講師謝金が入っていないが、140 万 2,000 円から、（２）から（４）まで講師謝金を差し引いたものがその金額となるか。

回答③：その通り。

質疑④：分館活動費について、牟礼地区と三水地区で 27 分館あるが、牟礼地区 23 分館三水地区 4 分館ということか。

回答④：その通り。

質疑⑤：分館活動費 755 万円の戸数割、均等割、事業費割の率は。

回答⑤：戸数割 60%、平均割 20%、事業費割 20%の割合で配分している。

質疑⑥：分館報コンクールと公民館フォトコンテストの入選が全て牟礼地区だが、三水地区はどうなっているか。

回答⑥：三水地区は 4 分館だけなので出品数が少ない。昨年の結果がたまたますべて牟礼地区だけになった。

質疑⑦：溝口会館管理運営費は浄化槽保守と警備保障の 48 万円以外に何に使っているか。

回答⑦：消耗品、光熱水費、修繕費、通信料等に使用している。

質疑⑧：溝口会館について、埋蔵文化財などを保管しているこの施設を今後どのように運営していくか。

回答⑧：合併後は歴史ふれあい館を中心として展示しているので、溝口会館で展示していく予定はない。

□学校給食共同調理場費

質疑なし

令和元年度飯綱町一般会計歳入歳出決算のうち、当小委員会で審査した内容は以上のとおりです。これらの決算認定について、反対の意見はありませんでした。

以上